

CELF 共通マスタ管理アプリ 管理者向けマニュアル

Ver 1.02

改訂履歴

版	日付	改訂内容
1.0	2022/5/17	新規作成
1.01	2022/5/31	「Galileopt 連携版」の手順を追記
1.02	2022/6/23	「PCA 連携版」の手順を追記

目次

● はじめに	2
○ 本資料の概要	2
○ ご利用条件	2
● 初期セットアップ	3
○ 【会計ソフト連携版のみ】「会計ソフト連携の拡張オプション」を登録	3
○ 「共通マスタ管理アプリ」のセットアップ	3
○ マスタデータ準備	3
◆ 【スタンドアロン版のみ】マスタ初期データの登録	3
◆ 【奉行クラウド連携版のみ】奉行クラウドからのマスタ情報連携処理	4
◆ 【Galileopt 連携版のみ】Galileopt からのマスタ情報連携処理	7
◆ 【PCA 連携版のみ】PCA からのマスタ情報連携処理	12
○ 公開設定	18
● マスタデータの確認・編集	19
○ マスタメンテナンス	19
● 【会計ソフト連携版のみ】連携項目を追加するカスタマイズ	21
○ 連携項目を追加する	21
○ テーブル定義	21
○ 奉行クラウド連携版の連携処理設定手順	22
○ Galileopt 連携版の連携処理設定手順	27
○ PCA 連携版の連携処理設定手順	29
○ マスタメンテナンス画面	30
● アプリのお問い合わせについて	34

● はじめに

○ 本資料の概要

本マニュアルは、「共通マスタ管理アプリ」の使用について、管理者向けに説明した資料となります。

本アプリには、「会計ソフト連携版」と、「スタンドアロン版」の2つの版が存在します。

「会計ソフト連携版」は以下の種類があります。

- ・共通マスタ管理(奉行クラウド連携版)
- ・共通マスタ管理(Galileopt 連携版)
- ・共通マスタ管理(PCA 連携版)

「会計ソフト連携版」を使用する場合、会計ソフトへ連携するための拡張オプションが必要となります。

会計ソフトと連携しない場合は、「スタンドアロン版」をご利用ください。

以下の設定について説明します。

◆ 初期セットアップ

アプリを使い始める前のセットアップ手順について説明します。

マスタ情報の準備方法について手順を説明します。

アプリの公開方法について手順を説明します。

◆ マスタデータの確認・編集

マスタメンテナンスを使用したマスタ情報の編集方法について手順を説明します。

◆ 【会計ソフト連携版のみ】連携項目を追加するカスタマイズ

会計ソフト連携を使い始める前のセットアップ、使用する手順について説明します。

◆ アプリのお問い合わせについて

本アプリのお問い合わせ方法を説明します。

○ ご利用条件

対象アプリのご利用にあたっては、以下のご利用条件に同意の上ご利用ください。

- ・ アプリの利用に関して、特定目的への適合性の保証、第三者の知的財産権を侵害しないことの保証、その他いかなる保証も行っておりません。
- ・ アプリの利用により生じたいかなる損害（直接損害、間接損害、付随的損害、結果的損害、特別損害を含む全て）についても、一切責任を追う事はできません。

● 初期セットアップ

○【会計ソフト連携版のみ】「会計ソフト連携の拡張オプション」を登録

本アプリでは会計ソフトと連携してマスタ情報を登録できる機能を提供しています。
この機能を使用するには拡張オプションの登録が必要になります。

以下のURLより、対応する会計ソフトに応じた拡張オプションをダウンロードしてください。

<https://www.celf.biz/download-contents/option-list.html>

ダウンロードした拡張オプションを CELF に登録します。

登録方法は以下の URL を参照してください。

https://cloud.celf.jp/celf-help/ja/texts/settings/register_external_option/register_external_option.html

拡張オプション登録後、拡張オプションに同梱されているマニュアルを参照し、各会計ソフトへの連携設定をしてください。

○「共通マスタ管理アプリ」のセットアップ

「共通マスタ管理アプリ」を CELF にインポートします。

【奉行クラウド連携版】の場合、以下のファイルをインポートしてください。

- ・ 共通マスタ管理(奉行クラウド連携).capp

【Galileopt 連携版】の場合、以下のファイルをインポートしてください。

- ・ 共通マスタ管理(Galileopt 連携).capp

【PCA 連携版】の場合、以下のファイルをインポートしてください。

- ・ 共通マスタ管理(PCA 連携).capp

【スタンドアロン版】の場合、以下のファイルをインポートしてください。

- ・ 共通マスタ管理(スタンドアロン).capp

インポート方法は以下の URL を参照してください。

https://cloud.celf.jp/celf-help/ja/texts/app/import_app/import_app.html

○ マスタデータ準備

◆【スタンドアロン版のみ】マスタ初期データの登録

アプリを使い始める前にマスタの初期値設定が必要となります。
提供する以下の CSV ファイル全てをマスタへインポートしてください。

com_m_取引先マスタ.csv

com_m_取引先別商品単価マスタ.csv
com_m_商品マスタ.csv
com_m_社員マスタ.csv
com_m_科目マスタ.csv
com_m_科目・補助マスタ.csv
com_m_税区分マスタ.csv
com_m_部門マスタ.csv

インポート方法は以下の URL を参照してください。

https://cloud.celf.jp/celf-help/ja/texts/table/import_csv_data/import_csv_data.html

インポートの際は、以下のチェックを OFF の状態にしてください。

「指定した ID で登録する」

「指定した LAST_UPDATER、LAST_MODIFIED で登録する」



以上でマスタ初期データの登録は完了です。

ご利用の会計ソフトにより、会計ソフト連携版のマスタ情報連携処理手順が異なります。
マスタ情報連携処理手順が完了したら、○公開設定の手順にお進みください。

◆ 【奉行クラウド連携版のみ】奉行クラウドからのマスタ情報連携処理
会計ソフトのマスタ情報を CELF のマスタに反映します。

① CELF のホーム画面から管理アイコンをクリックし管理画面を開きます。



② 共通マスタ管理アプリをクリックします。

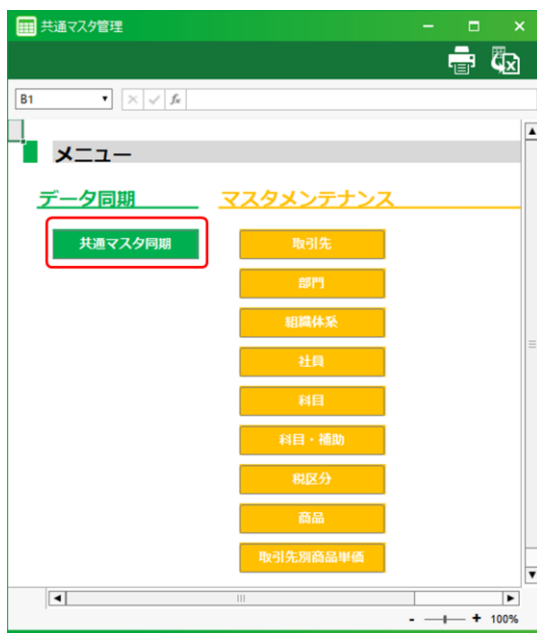


③ 「W001_メニュー」を開きます。



④ 共通マスタアプリを開いて、メニュー画面の共通マスタ同期ボタンをクリックします。

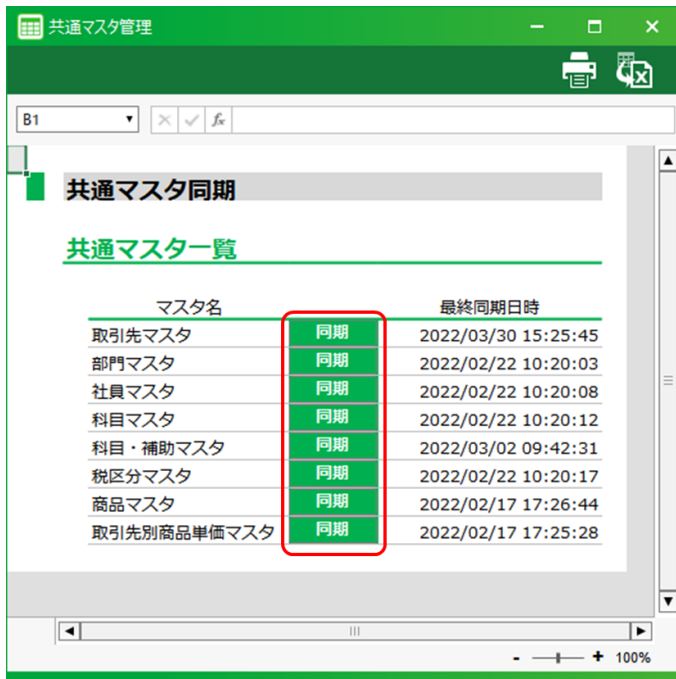
共通マスタを開く際に会計ソフトの認証画面が表示された場合は認証情報を入力してください。



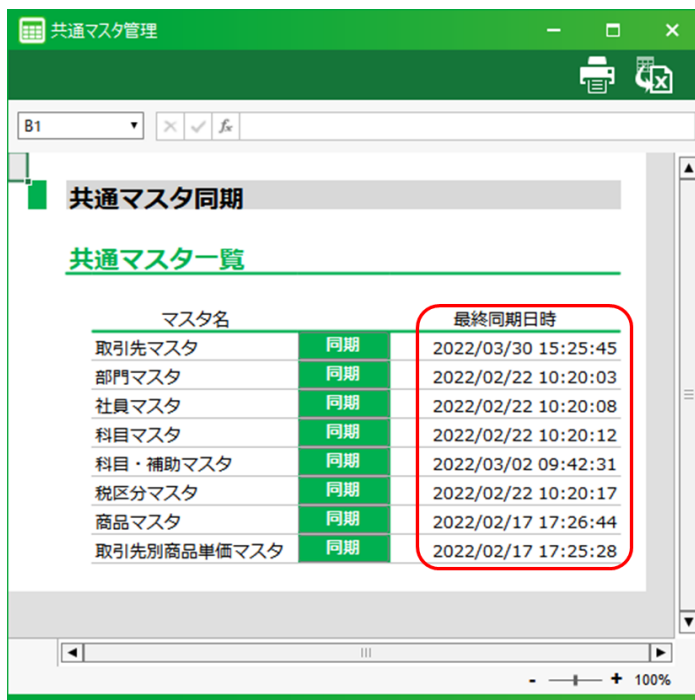
⑤ 会計ソフトからマスタ情報を取込みたいマスタの同期ボタンをクリックします。

取込際は CELF のマスタ情報を全件削除した後に会計ソフトから取得したマスタ情報を登録します。

※ マスタメンテナンス画面で直接登録、修正を行ったマスタ情報は上書きされますのでご注意ください。

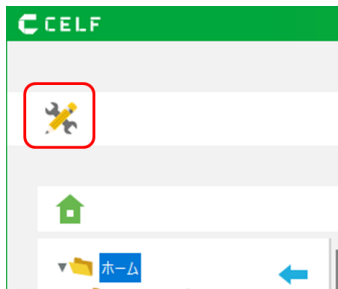


⑥ 取込みが完了すると最終同期日時が更新されます。



- ◆ 【Galileopt 連携版のみ】Galileopt からのマスタ情報連携処理
会計ソフトのマスタ情報を CELF のマスタに反映します。

- ① CELF のホーム画面から管理アイコンをクリックし管理画面を開きます。



- ② 共通マスタ管理アプリ(Galileopt 連携)をクリックします。



- ③ 「M001_共通マスタ同期_MJS 取引先マスタ（データ）」を開きます。



- ④ シート上に表示されている項目に合わせて、Galileopt にて共通マスタ登録モジュールのエクスポート処理のデータ交換パターン登録を行います。

シート上の B 列の項目から順に、エクスポート項目を設定します。

M001_共通マスタ同期_MJS取引先マスタ (データ)

B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
外部コード(取引先コード)	正式名称	フリガナ	郵便番号1	郵便番号2	住所上段	住所下段	電話番号1	電話番号2	FAX番号	準備項目1



Galileopt DX - 00000100 - 2022 - 株式会社データ通信 (本店) 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

データ交換パターン登録

終了(X) 印刷(P) 切出(Q) 項目検索(E)

モジュール 共通マスタ登録 処理 エクスポート

ファイル情報設定 項目情報設定 権限管理

項目名	項目名	タイトル	繰返	桁数	小数	採用	引用符	編集
1 外部コード	外部コード			16	有効	自動	なし	
2 正式名称	正式名称			60	有効	自動	なし	
3 フリガナ	フリガナ			40	有効	自動	なし	
4 郵便番号1	郵便番号1			3	有効	自動	なし	
5 郵便番号2	郵便番号2			4	有効	自動	なし	
6 住所上段	住所上段			60	有効	自動	なし	
7 住所下段	住所下段			60	有効	自動	なし	
8 電話番号1	電話番号1			20	有効	自動	なし	
9 電話番号2	電話番号2			20	有効	自動	なし	
10 FAX番号	FAX番号			20	有効	自動	なし	

ファイル形式は CSV 形式とし、見出付加は行わないよう設定してください。

Galileopt DX - 00000100 - 2022 - 株式会社データ通信 (本店) 2022年4月1日 ~ 2023年3月31日

データ交換パターン登録

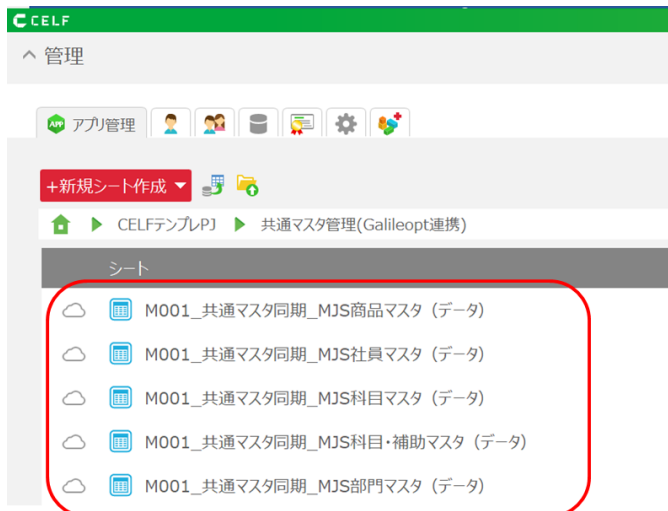
終了(X) 印刷(P) 切出(Q) 項目検索(E)

モジュール 共通マスタ登録 処理 エクスポート

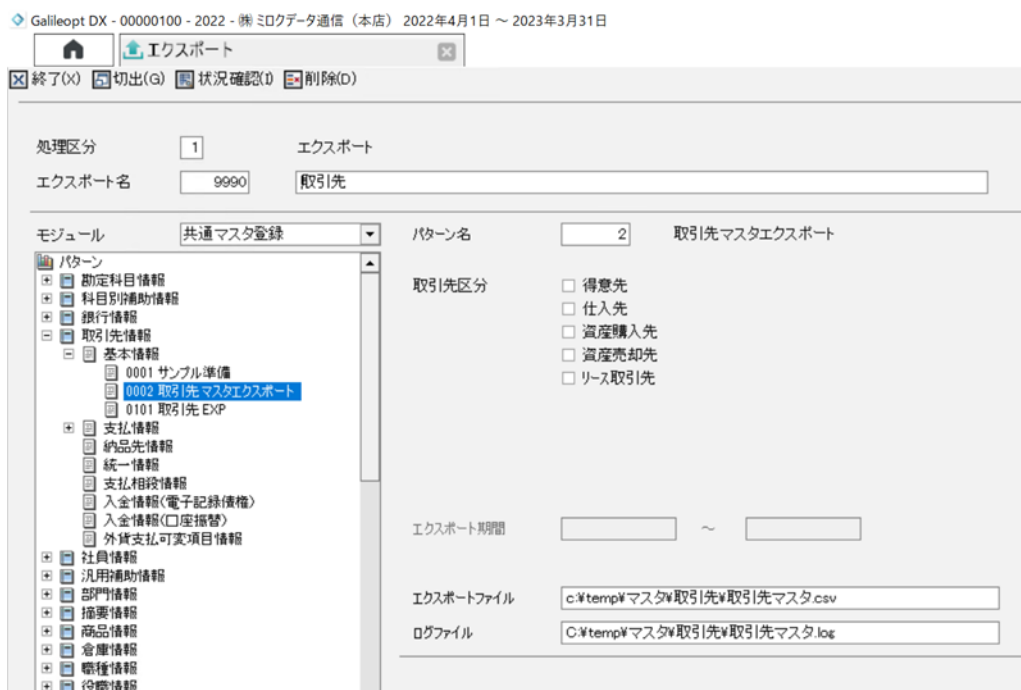
ファイル情報設定 項目情報設定 権限管理

区分	設定内容	区分説明
コリパターン		
パターン名	取引先マスタエクスポート	
ファイル形式	0	0:CSV形式、1:固定長形式、2:Excel情報(インポートのみ)
固定長情報		
半角文字	0	0:SJIS、1:EBCDIC
全角文字	0	0:SJIS、1:JIS
レコード区切	0	0:なし、1:CR/LF
マイナス	0	0:全角に付与、1:符号後、2:符号前
CSV情報		
文字コード	0	0:SJIS、1:UTF-8、2:Unicode
区切文字	0	0:カンマ、1:ピリオド、2:コロン、3:セミコロン
文字列引用符	1	0:なし、1:"、2:', 3:自動判定
トリミング	0	0:全角・半角を削除する、1:半角のみ削除する
日付情報		
日付形式	0	0:/、1:なし、2:ピリオド
時刻形式	0	0:なし、1:コロン
年号形式	0	0:西暦、1:西暦2桁、2:和暦、3:元号和暦
見出付加	0	0:行わない、1:行う
権限管理	0	0:権限管理しない、1:権限管理する
コード変換情報		
勘定科目	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。
科目別補助	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。
銀行	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。
取引先	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。
社員	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。
汎用補助1	0	コード変換NOを指定して下さい。 0:コード変換しません。

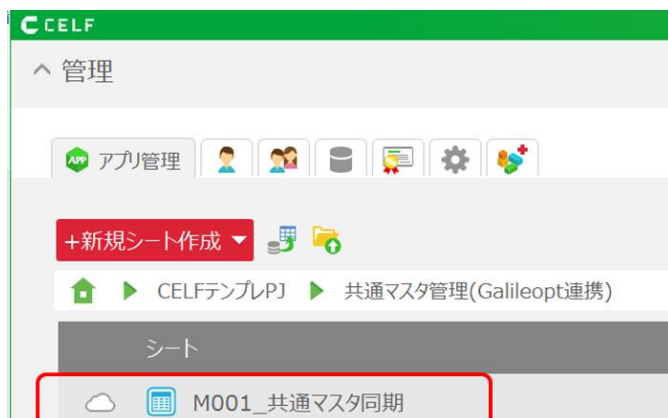
- ⑤ 他のマスタ(商品、社員、科目、科目・補助、部門)についても同様に共通マスタ登録モジュールのエクスポート処理のデータ交換パターン登録を行います。



- ⑥ 登録したそれぞれのデータ交換パターンに対して、エクスポートパターンを登録します。



- ⑦ 「M001_共通マスタ同期」を開きます。



⑧ J～P 列及び非表示行を再表示させます。

マスタ名	同期	最終同期日時
取引先マスタ	同期	
部門マスタ	同期	
社員マスタ	同期	
科目マスタ	同期	
科目・補助マスタ	同期	
商品マスタ	同期	

⑨ Galiopt 連携情報の各項目に記入します。各項目の意味は以下の通りです。

ログイン ID : Galileopt 連携先のログイン ID

ログインパスワード : Galileopt 連携先のログインパスワード

会社コード : Galileopt 連携先の会社コード

エクスポートファイルパス_マスタ名 : マスタエクスポート時のエクスポートファイルの出力先

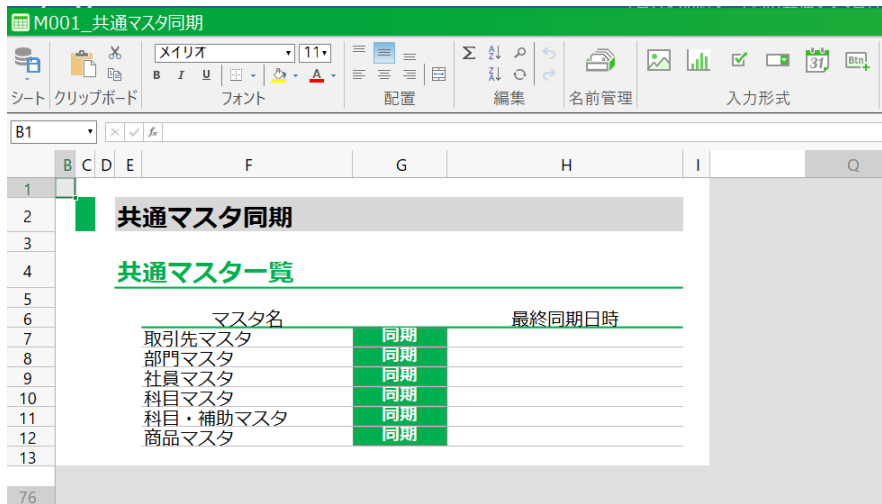
エクスポート名_マスタ名 : マスタエクスポートに使うエクスポート名

画面表示名_マスタ名 : マスタ同期実行時に表示される、処理状況を表示するポップアップの画面名

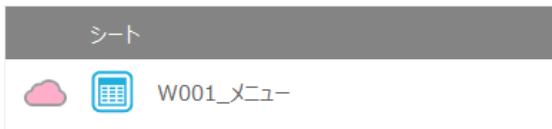
ログファイルパス_マスタ名 : マスタエクスポート時のログファイルの出力先

項目名	値	変数
Galileopt連携情報		
ログインID	9999	
ログインパスワード	9999	
会社コード		
エクスポートファイルパス_取引先	C:\temp\マスタ\取引先\取引先マスタ.csv	
エクスポート名_取引先	9990	
画面表示名_取引先	キューブオセロ_取引先マスタエクスポート	
ログファイルパス_取引先	C:\temp\マスタ\取引先\取引先マスタ.log	
エクスポートファイルパス_部門	C:\temp\マスタ\部門\部門マスタ.csv	
エクスポート名_部門	9960	
画面表示名_部門	キューブオセロ_部門マスタエクスポート	
ログファイルパス_部門	C:\temp\マスタ\部門\部門マスタ.log	
エクスポートファイルパス_社員	C:\temp\マスタ\社員\社員マスタ.csv	
エクスポート名_社員	9961	
画面表示名_社員	キューブオセロ_社員マスタエクスポート	
ログファイルパス_社員	C:\temp\マスタ\社員\社員マスタ.log	
エクスポートファイルパス_科目	C:\temp\マスタ\科目\科目マスタ.csv	
エクスポート名_科目	9962	
画面表示名_科目	キューブオセロ_科目マスタエクスポート	
ログファイルパス_科目	C:\temp\マスタ\科目\科目マスタ.log	
エクスポートファイルパス_科目補助マスタ	C:\temp\マスタ\科目補助\科目補助マスタ.csv	
エクスポート名_科目補助マスタ	9963	
画面表示名_科目補助マスタ	キューブオセロ_科目補助マスタエクスポート	
ログファイルパス_科目補助マスタ	C:\temp\マスタ\科目補助\科目補助マスタ.log	
エクスポートファイルパス_商品マスタ	C:\temp\マスタ\商品\商品マスタ.csv	
エクスポート名_商品マスタ	9965	
画面表示名_商品マスタ	キューブオセロ_商品マスタエクスポート	
ログファイルパス_商品マスタ	C:\temp\マスタ\商品\商品マスタ.log	

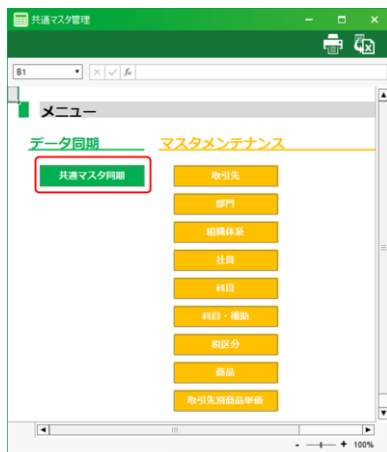
- ⑩ J～P 列及び 14～75 行を非表示にし、シートを保存します。



- ⑪ 「W001_メニュー」を開きます。



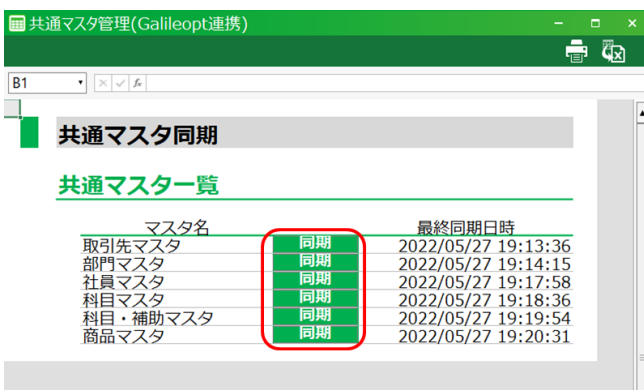
- ⑫ 共通マスタアプリを開いて、メニュー画面の共通マスタ同期ボタンをクリックします。



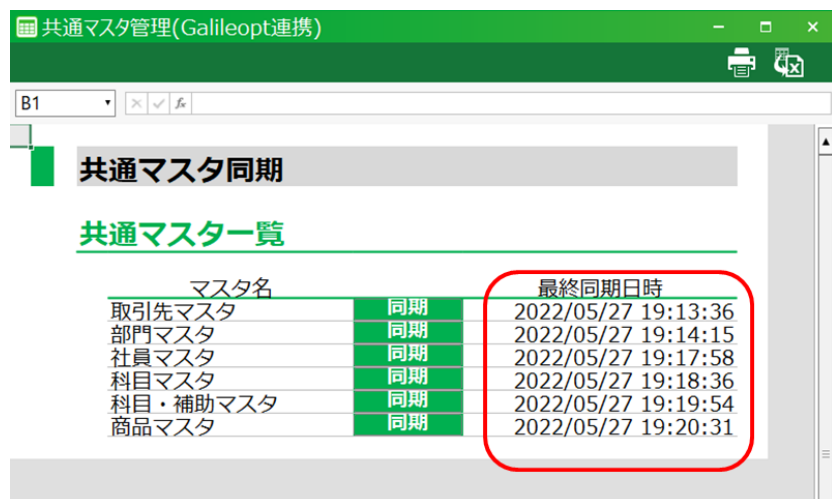
- ⑬ 会計ソフトからマスタ情報を取込みたいマスタの同期ボタンをクリックします。

取込際は CELF のマスタ情報を全件削除した後に会計ソフトから取得したマスタ情報を登録します。

※ マスタメンテナンス画面で直接登録、修正を行ったマスタ情報は上書きされますのでご注意ください。



- ⑭ 取込みが完了すると最終同期日時が更新されます。



マスタ名	同期	最終同期日時
取引先マスタ	同期	2022/05/27 19:13:36
部門マスタ	同期	2022/05/27 19:14:15
社員マスタ	同期	2022/05/27 19:17:58
科目マスタ	同期	2022/05/27 19:18:36
科目・補助マスタ	同期	2022/05/27 19:19:54
商品マスタ	同期	2022/05/27 19:20:31

- ◆ 【PCA 連携版のみ】PCA からのマスタ情報連携処理
会計ソフトのマスタ情報を CELF のマスタに反映します。

- ① CELF のホーム画面から管理アイコンをクリックし管理画面を開きます。



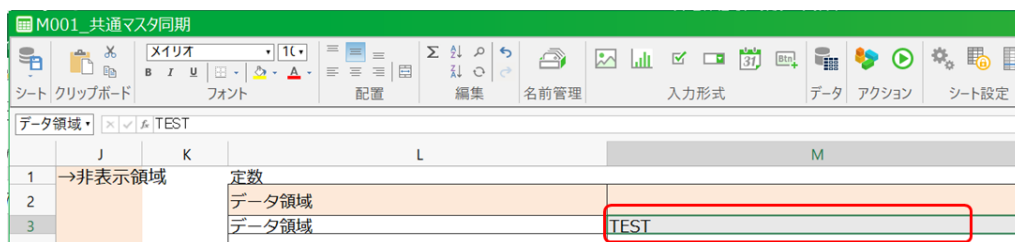
② 共通マスタ管理アプリ(PCA 連携)をダブルクリックします。



③ 「M001_共通マスタ同期」を開きます。



④ 非表示列を開き、データ領域欄（セル M3）に、同期対象のデータ領域を入力し、列を再度非表示にしてシートを保存します。



補足

データ領域は、PCA クラウド上に会計期間毎に設定されています。

設定可能なデータ領域一覧は、お使いの PCA クラウドを起動していただき、メニューからファイル⇒データ領域の選択を実行することで確認できます。

- ⑤ アクションセット設定を実行し、「01 初期表示」の編集を実行します。



- ⑥ タブ「PCA Web-API」を開き、歯車マークをクリックします。



- ⑦ 「PCA アプリ管理」ボタンを押下します。



⑧ 各項目に入力したら「登録」ボタンを押下してください。

なお、PCA 製品には「会計 DX」、認可方式には「認可コード」を設定してください。



PCAアプリの登録

接続先 ?

データセンター: 関東 ▼

PCA製品: 会計 DX ▼

認可情報 ?

クライアントID: CLIENTID

クライアントシークレット: *****

認可方式: 認可コード ▼

登録 キャンセル

⑨ 「認証情報の作成」ボタンを押下します。



PCAクラウド設定

PCAクラウド設定 ?

PCAアプリ管理 (アプリ間共通) ?

PCAアプリ管理

認可 (対象アプリ: 共通マスタ管理(PCA連携)) ?

+ 認証情報の作成

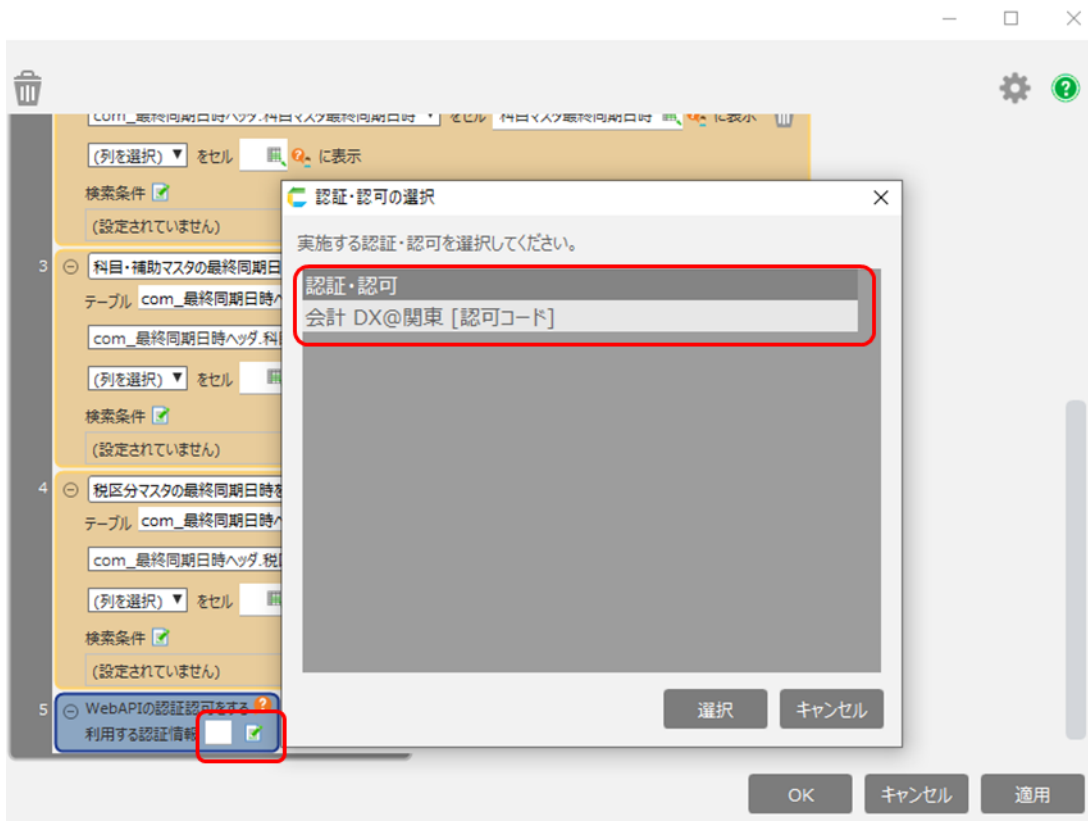
名前

閉じる

- ⑩ ⑦～⑧で登録した PCA アプリを選択し、登録します。



- ⑪ アクションセット編集画面に戻り、「WebAPI の認証許可をする」アクションの、「利用する認証情報」に⑨～⑩で登録した認証情報を設定します。

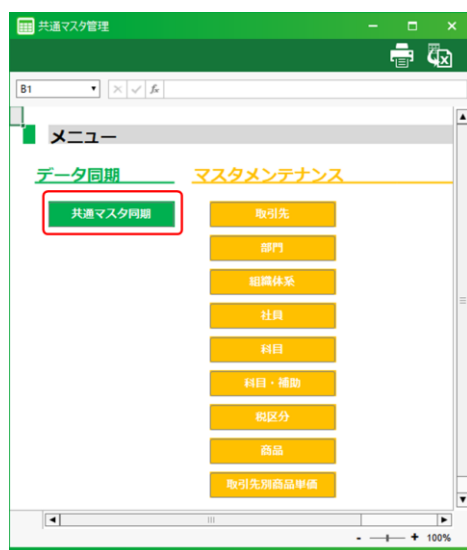


⑫ 共通マスタ管理アプリ(PCA 連携)を公開します。



⑬ 共通マスタアプリを開いて、メニュー画面の共通マスタ同期ボタンをクリックします。

共通マスタを開く際に会計ソフトの認証画面が表示された場合は認証情報を入力してください。



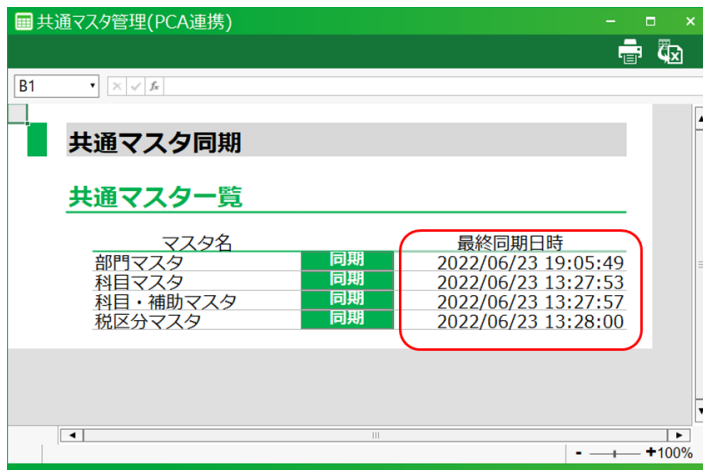
⑭ 会計ソフトからマスタ情報を取込みたいマスタの同期ボタンをクリックします。

取込際は CELF のマスタ情報を全件削除した後に会計ソフトから取得したマスタ情報を登録します。

※ マスタメンテナンス画面で直接登録、修正を行ったマスタ情報は上書きされますのでご注意ください。



- ⑮ 取込みが完了すると最終同期日時が更新されます。



マスタ名	同期	最終同期日時
部門マスタ	同期	2022/06/23 19:05:49
科目マスタ	同期	2022/06/23 13:27:53
科目・補助マスタ	同期	2022/06/23 13:27:57
税区分マスタ	同期	2022/06/23 13:28:00

○ 公開設定

以下の手順にて公開設定を行ってください。

- ① 「共通マスタ管理アプリ」のアイコンをクリックするとアプリが公開状態となります。

名前	更新日時
  共通マスタ管理	2022/05/12 16:42:09

開始シートには「W001_メニュー一覧」を選択してください。

開始シート  W001_メニュー

初期セットアップは以上で完了となります。

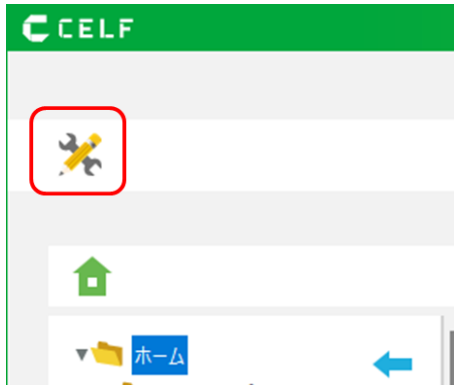
● マスタデータの確認・編集

マスタ情報の確認、編集方法について説明します。

○ マスタメンテナンス

マスタメンテナンス画面にて各マスタ情報の編集を行います。

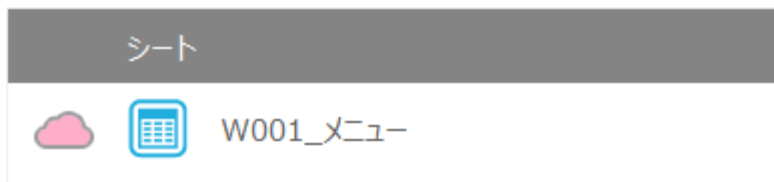
- ① CELF のホーム画面から管理アイコンをクリックし管理画面を開きます。



- ② 共通マスタ管理アプリをクリックします。

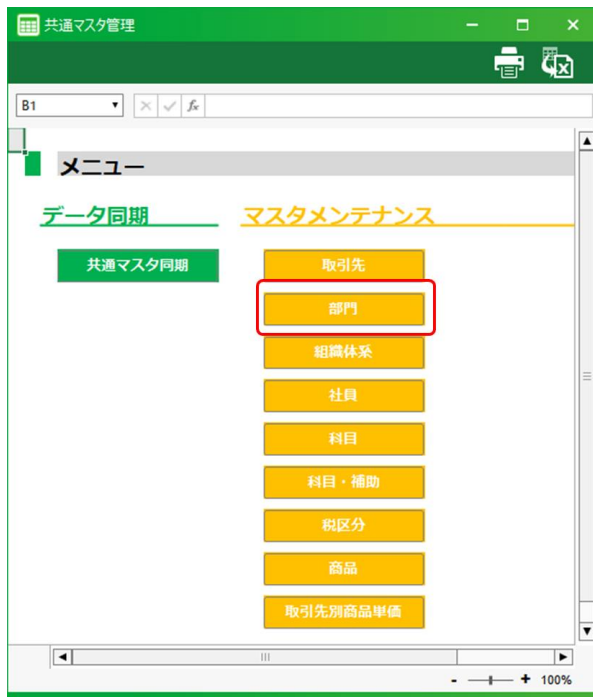


- ③ 「W001_メニュー」を開きます。



④ 共通マスタアプリを開いて、メニュー画面のマスタメンテナンスボタンをクリックします。

本資料では部門マスタを例に説明します。



⑤ マスタメンテナンス画面では以下の操作が可能です。

新規登録：No が表示されていない行のマスタ情報を新規入力して保存ボタンをクリックします。

更新：No が表示されている行のマスタ情報を変更して保存ボタンをクリックします。

削除：No が表示されている行の「削除」を選択して保存ボタンをクリックします。



マスタデータの確認・編集は以上で完了となります。

●【会計ソフト連携版のみ】連携項目を追加するカスタマイズ

○ 連携項目を追加する

会計ソフトからの連携項目を追加することができます。

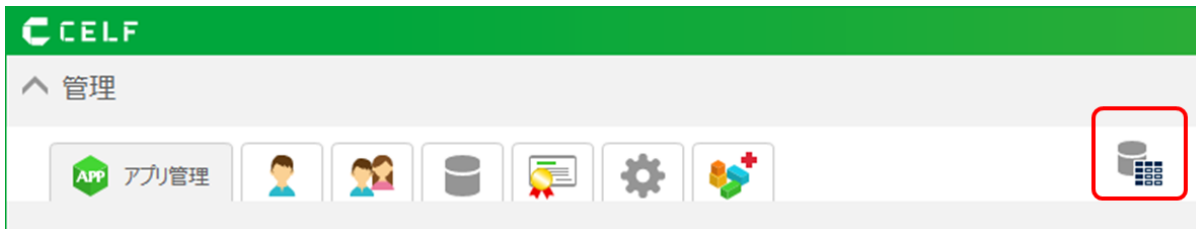
連携項目の追加を想定し、マスタごとに予備項目 1~10 を設けています。最大 10 項目まで追加することができます。追加する場合、以下のテーブル定義、取込処理、マスタメンテナンス画面の編集が必要になります。

本資料では会計ソフトから連携される取引先マスタに有効期間を追加する手順を例にして説明します。

○ テーブル定義

追加する項目をテーブル定義に追加します。

① 管理画面で、テーブル管理をクリックします。



② テーブル一覧にて項目を追加したいテーブルを右クリックし、テーブル定義の編集を選択します。



③ 予備項目の名称と型を変更し、「テーブルを更新」をクリックします。

下記の例では有効期間を追加するため、

「予備項目 1」を「有効開始日」に変更、

「予備項目 2」を「有効終了日」に変更しています。



次に、連携処理の設定手順を行いますが、ご利用の会計ソフトにより手順が異なります。
 連携処理の設定が完了したら、○マスタメンテナンス画面の手順にお進みください。

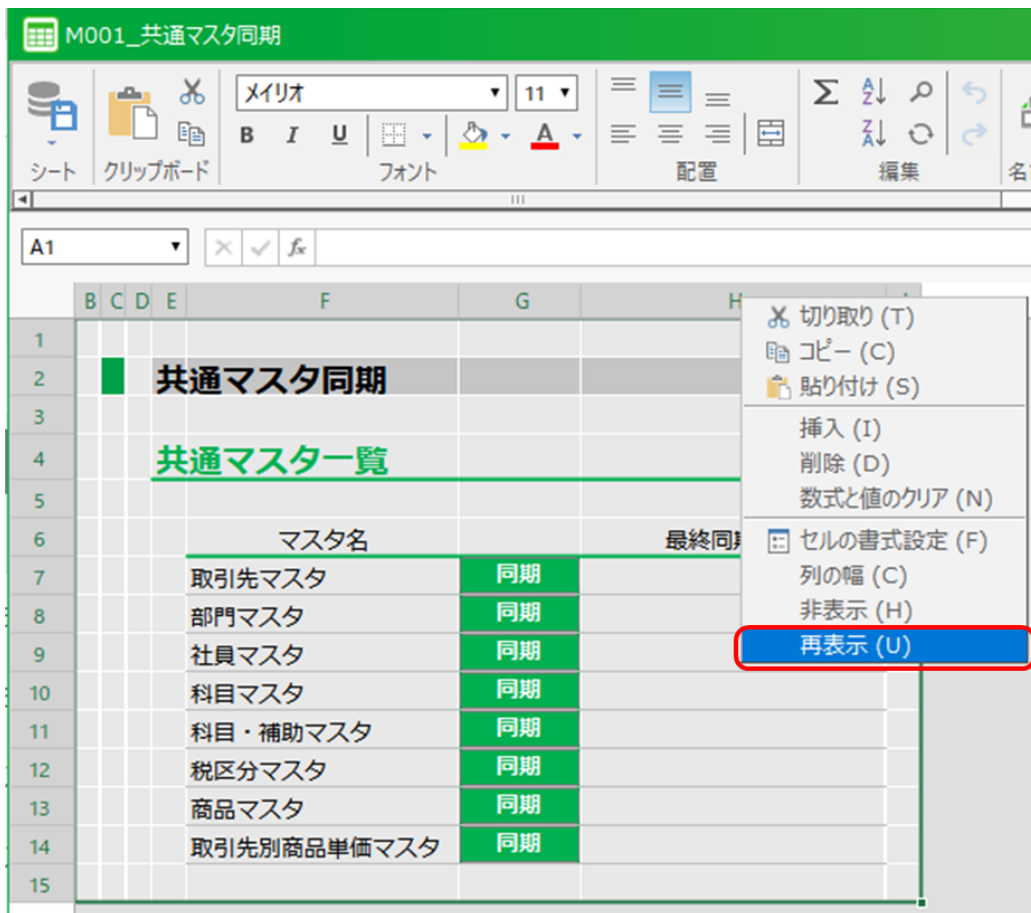
○ 奉行クラウド連携版の連携処理設定手順

会計ソフトからの連携処理にて連携項目を追加します。

- ① 管理画面で共通マスタの「M001_共通マスタ管理」をクリックします。

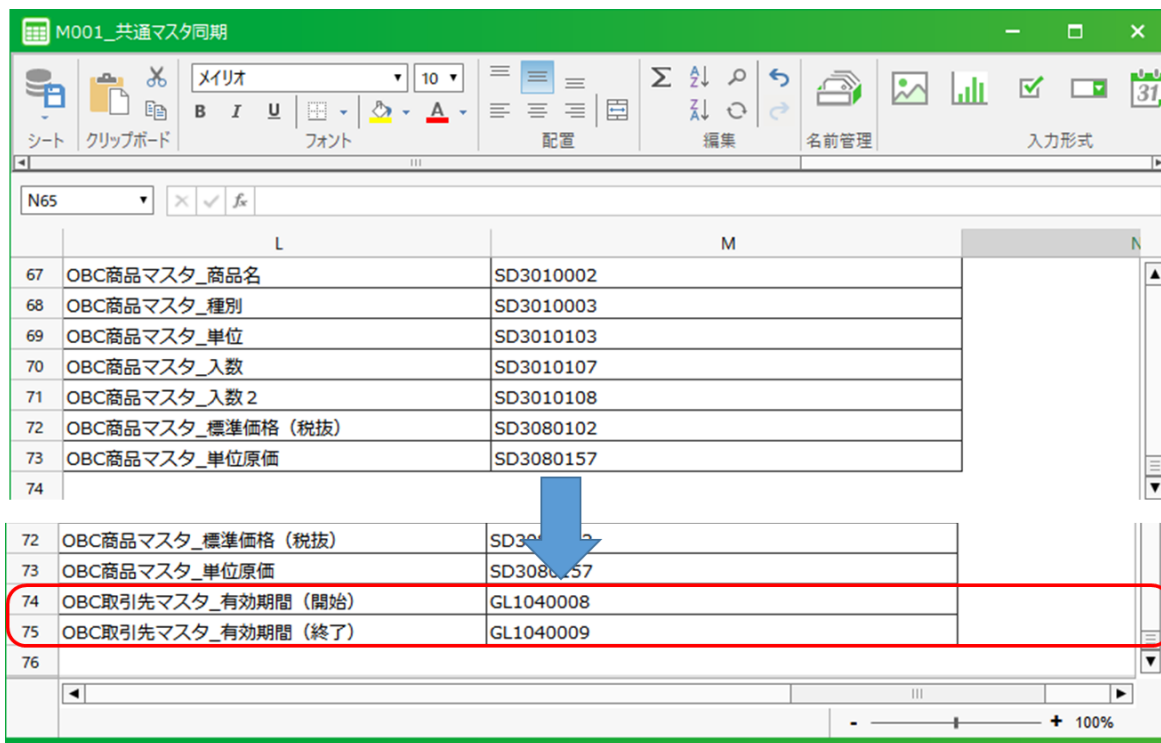


② 非表示領域を表示するため、行・列を再表示します。



③ 行を2行追加して、追加項目の項目名と項目記号を入力します。

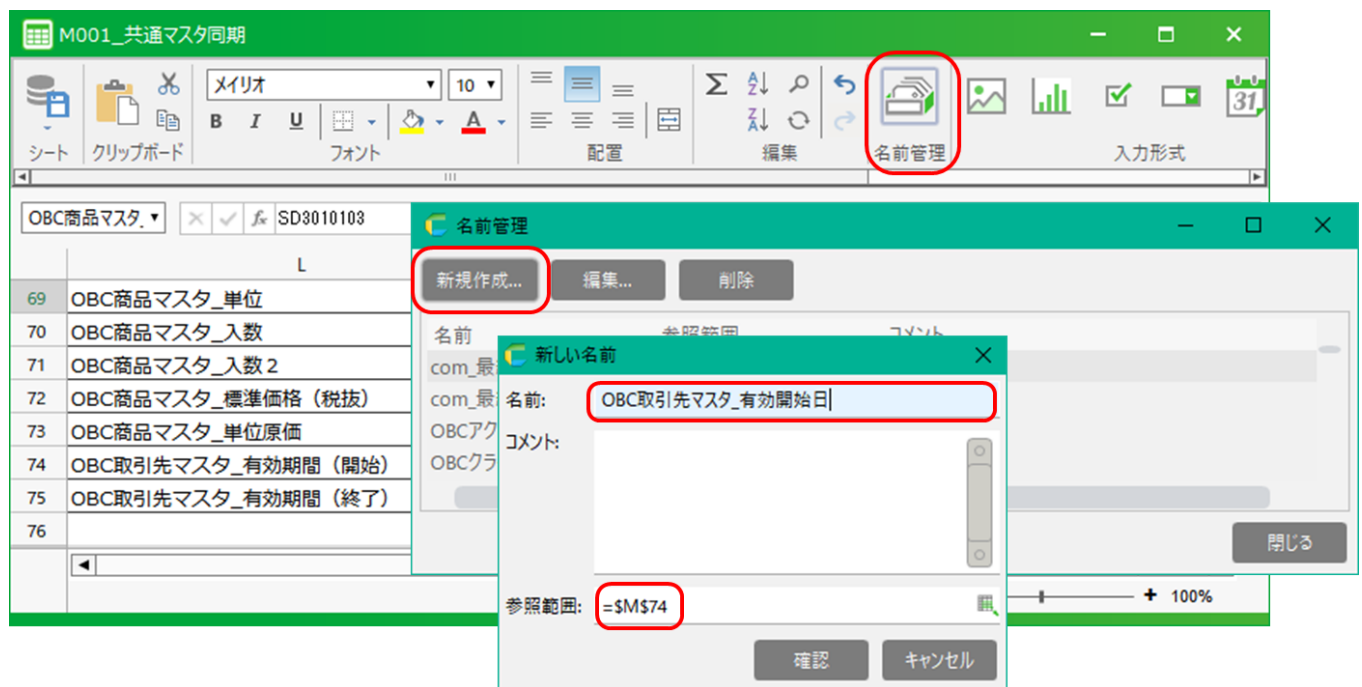
※項目記号は、会計ソフトから提供されている API 連携仕様をご確認ください。



④ 名前管理に有効開始日、有効終了日を追加します。

名前：接続先+マスタ名+_項目名

参照範囲：追加した項目記号の記載セル

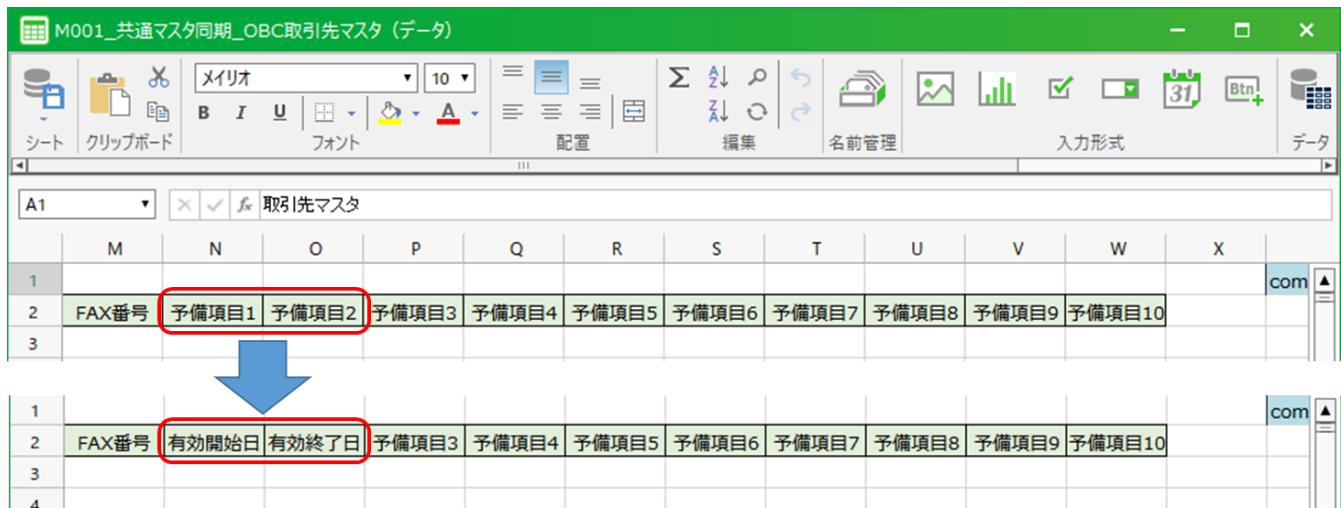


⑤ 非表示領域を元の非表示の状態に戻してから画面を閉じます。

⑥ 管理画面で共通マスタの「M001_共通マスタ同期_OBC～マスタ（データ）」をクリックします。



⑦ 予備項目 1、予備項目 2 の名称を変更します。



⑧ アクション定義の「99 マスタ同期」をクリックします。



「WebAPI を呼び出す」アクションのボディのアイコンをクリックします。



プロパティ名「itemList」の「+配列」タブをクリックし、共通マスタ同期画面に追加した 2 項目を指定します。

リクエストボディ (JSON) の設定

ルート要素 オブジェクト

+ オブジェクト

プロパティ名 includeInvalid 整数

0

プロパティ名 itemList 配列

+ 配列

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_取引先コード

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_法人番号

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_取引先名

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_事業所名

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_取引先カナ

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_事業所名カナ

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_郵便番号

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_都道府県

リクエストボディ (JSON) の設定

ルート要素 オブジェクト

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_取引先カナ

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_事業所名カナ

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_郵便番号

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_都道府県

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_市区町村

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_番地

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_ビル等

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_電話番号

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_FAX番号

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_有効開始日

文字列

=M001_共通マスタ同期!OBC取引先マスタ_有効終了日

⑨ 「データを登録する」アクションに追加項目を設定します。

7

テーブル com_m_取引先マスタ にデータを登録する

com_m_取引先マスタ.取引先コード に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "A") を登録

com_m_取引先マスタ.法人番号 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "B") を登録

com_m_取引先マスタ.取引先名 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "C") を登録

com_m_取引先マスタ.取引先カナ に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "E") を登録

com_m_取引先マスタ.事業所名 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "D") を登録

com_m_取引先マスタ.事業所名カナ に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "F") を登録

com_m_取引先マスタ.郵便番号 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "G") を登録

com_m_取引先マスタ.住所 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "H")&UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "I") を登録

com_m_取引先マスタ.電話番号 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "L") を登録

com_m_取引先マスタ.FAX番号 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "M") を登録

com_m_取引先マスタ.有効開始日 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "N") を登録

com_m_取引先マスタ.有効終了日 に =UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!F3, "O") を登録

(列を選択) に を登録

☐ 登録された ID を次のセルにセットする

○ Galioleopt 連携版の連携処理設定手順

会計ソフトからの連携処理にて連携項目を追加します。

- ① 管理画面で共通マスタの「M001_共通マスタ同期_MJS～マスタ（データ）」をクリックします。



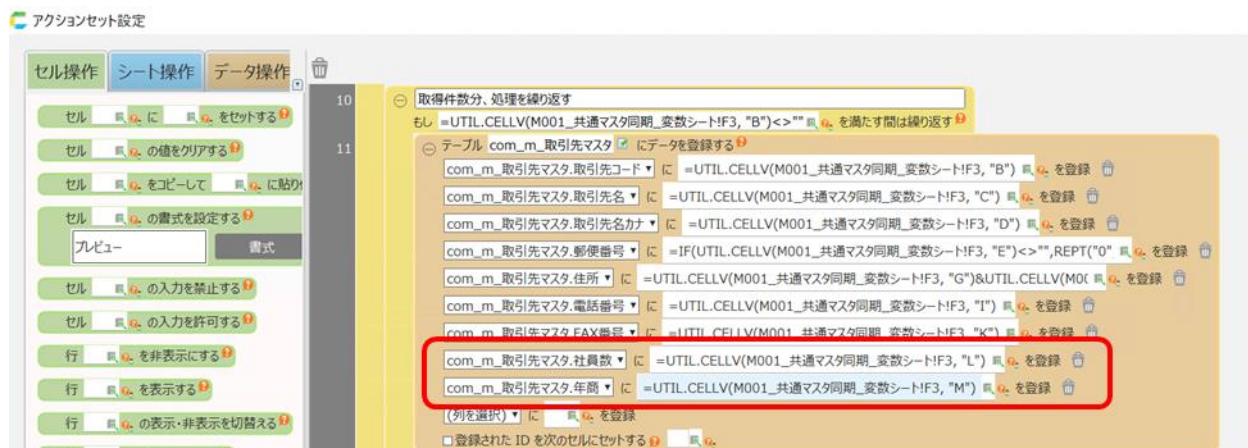
- ② 予備項目 1、予備項目 2 の名称を変更します。

M001_共通マスタ同期_MJS取引先マスタ（データ）												
取引先マスタ												
1	外部コード(取引先コード)	正式名称	フリガナ	郵便番号1	郵便番号2	住所上段	住所下段	電話番号1	電話番号2	FAX番号	予備項目1	予備項目2
2	外部コード(取引先コード)	正式名称	フリガナ	郵便番号1	郵便番号2	住所上段	住所下段	電話番号1	電話番号2	FAX番号	社員数	年商
3												

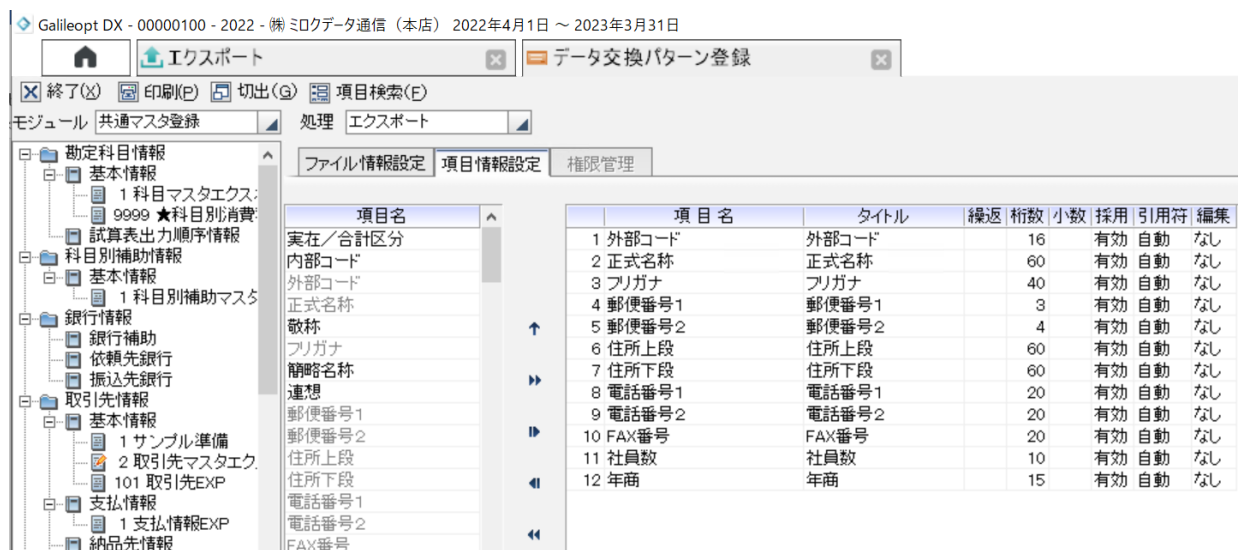
- ③ アクション定義の「99 マスタ同期」をクリックします。



④ 「データを登録する」アクションに追加項目を設定します。



⑤ Galileopt にて、追加した項目をデータ交換パターンに追加します。



○ PCA 連携版の連携処理設定手順

会計ソフトからの連携処理にて連携項目を追加します。

- ① 管理画面で共通マスタの「M001_共通マスタ管理」をクリックします。



- ② 管理画面で共通マスタの「M001_共通マスタ同期_PCA～マスタ（データ）」をクリックします。



- ③ 同期実行すると、「M001_共通マスタ同期_PCA～マスタ（データ）」上に PCA 上のマスタデータの全項目が出力されますが、必要最低限の項目のみ SELF 上に連携する仕様となっており、連携しない項目については、出力列のヘッダが「予備項目」となっています。
- ※出力されるマスタデータの項目は、会計ソフトから提供されている API 連携仕様をご確認ください。
- 連携したい項目が出力される列のヘッダを、マスタデータの項目名に変えてください。

M001_共通マスタ同期_PCA部門マスタ（データ）

	A	B	C	D	E
1	部門マスタ				
2	Id	部門コード	部門名	予備項目	予備項目

↓

1	部門マスタ				
2	Id	部門コード	部門名	加索引	削除可能フラグ
3					

- ④ アクション定義の「99 マスタ同期」をクリックします。

アクションの定義

+新規アクションセット作成 ?

名前	設定済みボタン
99部門マスタ同期	

- ⑤ 「データを登録する」アクションに追加項目を設定します。

7

テーブル com_m_部門マスタ にデータを登録する ?

com_m_部門マスタ.部門コード	に	=UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!H3, "B")	を登録	🗑
com_m_部門マスタ.部門名	に	=UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!H3, "C")	を登録	🗑
com_m_部門マスタ.加索引	に	=UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!H3, "D")	を登録	🗑
com_m_部門マスタ.削除可能フラグ	に	=UTIL.CELLV(M001_共通マスタ同期_変数シート!H3, "E")	を登録	🗑
(列を選択)	に		を登録	
<input type="checkbox"/> 登録された ID を次のセルにセットする ?				

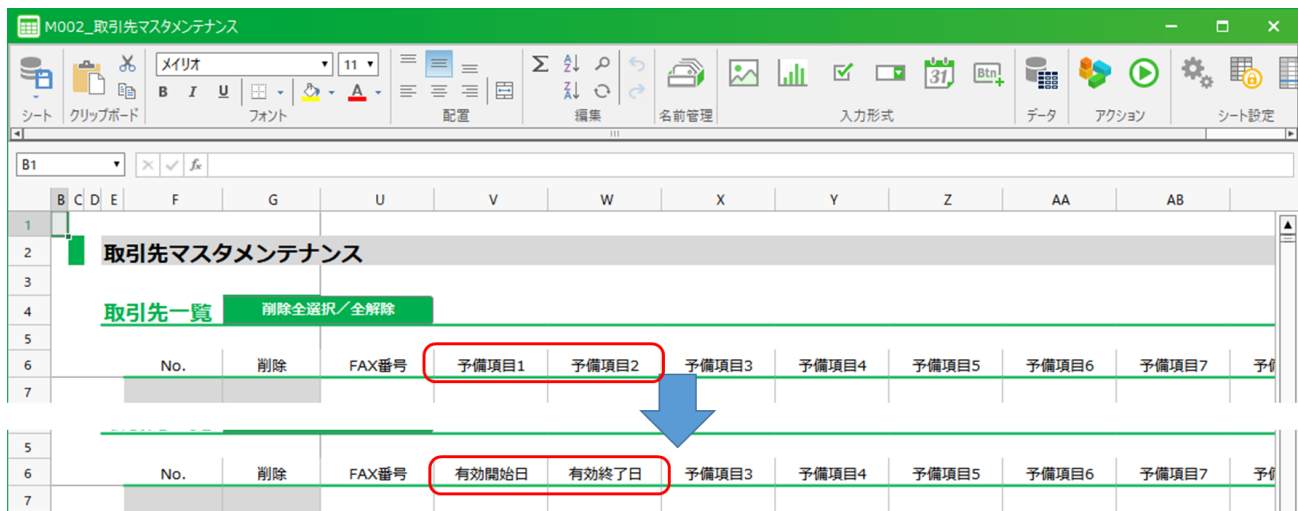
○ マスタメンテナンス画面

追加する項目をマスタメンテナンス画面に追加します。

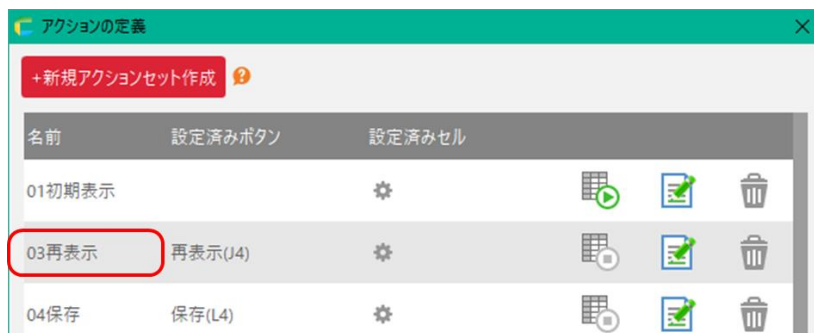
- ① 管理画面で共通マスタの「M002_～マスタメンテナンス」をクリックします。



② 予備項目 1、予備項目 2 の名称を追加する項目名に変更します。



③ アクション定義の「03 再表示」をクリックします。



④ 「複数件取得する」アクションにて「表示する列と表示先の設定」のアイコンをクリックします。



表示する列に追加項目を設定します。

※ 手順「テーブル定義」にて予備項目 1、予備項目 2 を変更した時点で、本アクションに定義されていた予備項目 1、予備項目 2 は自動削除されています。



⑤ アクション定義の「04 保存」をクリックします。



⑥ 「データを登録する」アクションにて有効開始日、有効終了日を選択します。

25

行をテーブルに登録

テーブル com_m_取引先マスタ にデータを登録する

com_m_取引先マスタ.取引先コード に =INDIRECT("H" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.FAX番号 に =INDIRECT("U" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.有効終了日 に =INDIRECT("W" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.予備項目3 に =INDIRECT("X" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.予備項目9 に =INDIRECT("AD" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.予備項目10 に =INDIRECT("AE" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

com_m_取引先マスタ.有効開始日 に =INDIRECT("V" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) を登録

(列を選択) に を登録

※ 手順「テーブル定義」にて予備項目 1、予備項目 2 を変更した時点で、本アクションに定義されていた予備項目 1、予備項目 2 は「列を選択」の表示に変更されています。

⑦ 「データを更新する」アクションにて有効開始日、有効終了日を選択します。

28

行をテーブルに更新

テーブル com_m_取引先マスタ のデータを更新する

com_m_取引先マスタ.取引先コード を =INDIRECT("H" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

com_m_取引先マスタ.FAX番号 を =INDIRECT("U" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

com_m_取引先マスタ.有効終了日 を =INDIRECT("W" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

com_m_取引先マスタ.予備項目3 を =INDIRECT("X" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

com_m_取引先マスタ.予備項目10 を =INDIRECT("AE" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

com_m_取引先マスタ.有効開始日 を =INDIRECT("V" & M002_取引先マスタメンテナンス_制御用 (アクション) !J3) で更新

※ 手順「テーブル定義」にて予備項目 1、予備項目 2 を変更した時点で、本アクションに定義されていた予備項目 1、予備項目 2 は「列を選択」の表示に変更されています。

連携項目を追加するカスタマイズは以上で完了となります。

● アプリのお問い合わせについて

アプリに関してのお問い合わせやご意見などございましたら、メニュー画面より問い合わせフォームを開くことができますので、内容を入力してお問い合わせください。

※カスタマイズを行ったアプリについてのお問い合わせは対応しておりません。

カスタマイズを行う際は、メニューから問い合わせボタンを削除してください。



以上